



感染性胃腸炎に注意
手をよく洗いましょう!

感染症発生動向速報

(令和4年第41週分・10月10日～10月16日)

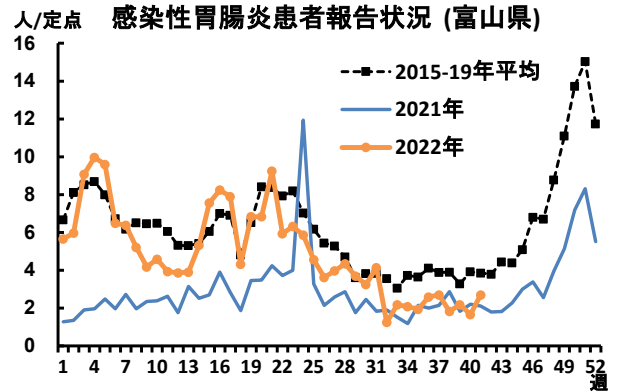
《インフォメーション》

●**感染性胃腸炎**

今週、県内の感染性胃腸炎の定点医療機関あたりの報告数は2.69人となり、先週(1.66)より増加しました。2022年の県内における感染性胃腸炎の定点あたり報告数は、新型コロナウイルス感染症流行前の2015-2019年平均と同様に推移しています(図参照)。また、全国での報告数は新型コロナの流行前よりやや低いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎は、ウイルスまたは細菌などの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称です。原因はウイルス感染(ノロウイルス、サポウイルスなど)が多く、特に冬季はノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行する傾向にあります。2020年の冬季には大きな流行が認められませんでした。2021年は45週以降に報告数が増加し、県内・全国ともに流行が認められました。今年も昨年同様に冬季の流行が起こる可能性が考えられるため、注意が必要です。

ノロウイルスは、ウイルスに汚染された二枚貝などの食品を十分に加熱調理しないで食べた場合や、汚染された糞便や吐物から人の手などを介してウイルスを経口的に摂取してしまった場合に感染します。また、比較的狭い空間等では飛沫・塵埃感染の報告もあります。感染後24～48時間の潜伏期を経て、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはありません。治療は対症療法が中心になります。また、ノロウイルスの排出は症状の消失後も数週間ほど続きます。次の事項に注意して感染を予防しましょう。



- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が85℃～90℃で90秒以上)して食べる。

《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 2,631件 (10/11(火)～10/17(月)公表分)
- 二類感染症 結核 3件 (①第36週診断分：70歳代、女性 ②第40週診断分：60歳代、男性 ③70歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (20歳代、女性、O血清群不明、VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①②共に第40週診断分：男性、肺炎型 ①60歳代 ②70歳代)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (80歳代、男性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (80歳代、男性、A群)
侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (70歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.69 (↑)	1.66
2位	手足口病	1.21 (↓)	1.48
3位	RSウイルス感染症	1.03 (↓)	1.28
4位	突発性発しん	0.21 (↓)	0.28
	ヘルパンギーナ	0.21 (↓)	0.55
6位	流行性角結膜炎	0.14 (↑)	0.00



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第41週 令和4年10月10日～令和4年10月16日）

分類	疾患	今週報告分（第41週）						累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1			1	3	5	32	11	30		81
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症		1				1	2	3	4	1	11		21
四類感染症	E型肝炎							1	1					2
	つつが虫病								1					1
	レジオネラ症							4		10	5	15		34
五類感染症	アメーバ赤痢									1		2		3
	ウイルス性肝炎									3				3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1			5	2	10		17
	急性脳炎									4				4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1		1	3		5	1	8		17
	後天性免疫不全症候群									1		1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1		4		5
	侵襲性肺炎球菌感染症			1			1			4		5		9
	水痘（入院例）							1	1			3		5
	梅毒							2		9	4	24		39
	播種性クリプトコックス症											3		3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症											1		1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ									2			
RSウイルス感染症		4 1.00	2 0.67	15 1.88	3 0.75	6 0.60	30 1.03	38	70	367	79	394		948
咽頭結膜熱		1 0.25					1 0.03	60	37	156	12	117		382
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				2 0.25	1 0.10	1 0.10	3 0.10	33	10	117	22	196		378
感染性胃腸炎		11 2.75	7 2.33	23 2.88	2 0.50	35 3.50	78 2.69	691	669	1,749	619	2,120		5,848
水痘						2 0.20	2 0.07	3	9	49	3	36		100
手足口病			4 1.33	12 1.50	7 1.75	12 1.20	35 1.21	79	175	564	74	465		1,357
伝染性紅斑								2	1	5	1	7		16
突発性発しん				4 0.50	1 0.25	1 0.10	6 0.21	24	26	128	32	102		312
ヘルパンギーナ		2 0.50		4 0.50			6 0.21	94	113	75	4	66		352
流行性耳下腺炎								1		6	4	1		12
流行性角結膜炎				1 0.50			1 0.14	10	4	10				24
細菌性髄膜炎											1	1		2
無菌性髄膜炎												1		1
マイコプラズマ肺炎									1	1	1			3
インフルエンザによる入院患者（※1）					1		1				1			1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週(9月5日)～の集計です。

分類	疾患	10月11日(火)～10月17日(月)公表分							累積報告数（9月27日～）医療機関の所在地ベース						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他	計
新型コロナウイルス感染症等 感染症	新型コロナウイルス感染症	344	176	641	349	960	161 ^{※3}	2,631	931	537	1,973	920	2,739	477 ^{※3}	7,577
		※2 県報道発表資料の公表日に基づく集計 ※3 陽性者登録センター分 ※4 県外、居住地非公表分							累積報告数（令和4年1月3日～9月26日）感染者居住地ベース						
								11,056	9,713	36,512	13,093	51,566	390 ^{※4}	122,330	

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年9月分）

		9月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	1		3	5		2	18		59	79
			1.00	0.33		0.75	0.50						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			5	6		3	5	2	40	50
			1.00			1.25	0.60						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ				1	1	2			1	10	9	20
					1.00	0.25	0.20						
	淋菌感染症		1	1		2	4		1	1		18	20
			1.00	0.33		0.50	0.40						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3	3	8	2	10	26	16	8	24	20	90	158
		3.00	3.00	8.00	2.00	10.00	5.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							4		1		4	9

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。